

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名	一般国道4号 <small>きたかみ</small> 北上拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：岩手県北上市相去町字笹長根 至：岩手県北上市飯豊町村崎野19地割	延長	12.2km		
事業概要 国道4号は、東京都中央区と青森県青森市を結び、広域交流の支援並びに沿線市町村の連携強化を図る幹線道路である。北上拡幅は北上市内の国道4号の交通混雑緩和と交通安全の確保、沿道環境の改善を目的としている。					
S57年度事業化		平成7度都市計画決定	S58年度用地着手	S57年度工事着手	
全体事業費	約180億円	事業進捗率	67%	供用済延長	7.3km
計画交通量	29,100台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.7	総費用 (残事業/事業全体) 69/275億円	総便益 (残事業/事業全体) 138/456億円	基準年 平成16年	
	(残事業) 2.0	（事業費：48/224億円 維持管理費：20/51億円）	（走行時間短縮便益：137/442億円 走行費用減少便益：0/9億円 交通事故減少便益：1/5億円）		
感度分析の結果 ： 残事業・事業全体について感度分析を実施					
【事業全体】			【残事業】		
交通量変動：B/C=1.8 (交通量+10%) B/C=1.5 (交通量-10%)		交通量変動：B/C=2.2 (交通量+10%) B/C=1.8 (交通量-10%)			
事業費変動：B/C=1.6 (事業費+10%) B/C=1.7 (事業費-10%)		事業費変動：B/C=1.9 (事業費+10%) B/C=2.2 (事業費-10%)			
事業期間変動：B/C=1.5 (事業期間+20%) B/C=1.8 (事業期間-20%)		事業期間変動：B/C=1.9 (事業期間+20%) B/C=2.1 (事業期間-20%)			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の改善が期待される） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる）					
他15項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 北上拡幅は、交通混雑の緩和、安全性の確保、沿道環境の改善等に重要な役割を果たすことが期待されており、岩手地区国道協議会より早期整備の要望（平成16年10月14日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】 事業費：120億円（進捗率67%） うち用地費：39億円（進捗率68%）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業進捗に係る問題はなく順調に事業を進めており、平成17年度の和賀大橋区間L=0.5km完成4車線供用、平成19年度の和賀大橋～県道北上和賀線間L=0.6km完成4車線供用を目標に事業推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等 和賀大橋において、新橋(2車線)を施工せず、既存の橋を補強拡幅することでコスト削減を図っている。					
対応方針 ： 事業継続					
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					
凡例 ■ 供用中 ■ 再評価箇所 ■ うち供用中					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。